

高齢者に対する支援と介護保険制度

問題 126 「令和元年版高齢社会白書」(内閣府)における高齢者の介護に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 65歳以上の者の死因別の死亡率で最も高いのは、「老衰」となっている。
- 2 要介護者等からみた主な介護者の続柄で最も多いのは、「子の配偶者」となっている。
- 3 55歳以上の男性では、介護を頼みたい人として最も多いのは、「子」となっている。
- 4 要介護者等において、介護が必要になった主な原因で最も多いのは、「認知症」となっている。
- 5 55歳以上の男女では、介護が必要になった場合の費用をまかなう手段として最も多いのは、「貯蓄」となっている。

問題 127 高齢者の保健・福祉制度の展開に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 生活保護法(1950年(昭和25年))により、全国老人クラブ連合会が結成され、老人クラブが規定された。
- 2 老人福祉法(1963年(昭和38年))により、軽費老人ホームが規定された。
- 3 老人保健法(1982年(昭和57年))により、介護予防事業が規定された。
- 4 高齢社会対策基本法(1995年(平成7年))により、21世紀までの介護基盤の量的整備が規定された。
- 5 介護保険法(1997年(平成9年))により、認知症サポーター養成研修事業が規定された。

問題 128 事例を読んで、W居宅介護支援事業所のC介護支援専門員(社会福祉士)によるDさんへの支援内容として、適切なものを2つ選びなさい。

〔事例〕

Dさん(69歳、女性、要介護2)は長男(42歳)と暮らしている。10年前にパーキンソン病と診断され、服薬を続けている。小刻み状態の歩行であり、自宅のカーペットは、ずれやすく転びそうになることがある。ベッドの端座位からの起立に時間がかかる。食事の際、たまにむせることがある。また、最近は昼間に強い眠気がある。担当のW居宅介護支援事業所のC介護支援専門員は、自宅で安心して暮らしていきたいというDさんと長男の意向を踏まえ、居宅サービス計画を立案している。

- 1 転倒防止のため、できるだけベッド上での安静を図るよう指示した。
- 2 転ばないように、カーペットを固定することを助言した。
- 3 強い眠気は薬の副作用であるので、薬の減量を長男に指示した。
- 4 ベッドからの起立を楽にするために、一気に起き上がることを勧めた。
- 5 食べ物が喉の途中で引っかかる感じがいか、Dさんと長男に確認した。

問題 129 「ロボット技術の介護利用における重点分野」(2017年(平成29年)改訂(厚生労働省・経済産業省))に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 見守り・コミュニケーション分野には、センサーや外部通信機能を備えた機器のプラットフォームが含まれる。
- 2 移乗支援分野には、ロボット技術を用いて高齢者等の外出や屋内移動をサポートする機器が含まれる。
- 3 移乗支援分野の非装着型の機器は、備付けのための土台工事が必要となる。
- 4 移動支援分野の装着型機器は、パワーアシストで介助者の負担軽減を図る。
- 5 排泄支援分野を担うロボットは、排泄物の処理を行うものに限られる。

問題 130 要介護高齢者の住環境整備に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 階段は、ステップの面と高さの色彩コントラストをはっきりさせる。
- 2 床の滑り止めを極力強化することで、転倒を防止する。
- 3 手指に拘縮がある場合、握り式のドアノブにする。
- 4 車いす利用の場合、有効な廊下幅は550mm以上である。
- 5 ポータブルトイレの設置は、ベッドからできるだけ遠ざける。

問題 131 介護保険制度における保険給付と介護報酬に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 介護報酬の算定基準を定める場合、厚生労働大臣はあらかじめ財務大臣及び総務大臣の意見を聴かなければならないこととなっている。
- 2 特定入所者介護サービス費は、介護保険施設入所者のうちの「低所得者」に対し、保険給付にかかる定率負担の軽減を図るものとなっている。
- 3 介護報酬の1単位当たりの単価は10円を基本とした上で、事業所・施設の所在地及びサービスの種類に応じて減額が行われている。
- 4 要介護度に応じて定められる居宅介護サービス費等区分支給限度基準額が適用されるサービスの種類の一つとして、短期入所療養介護がある。
- 5 福祉用具貸与の介護報酬については、貸与価格の下限の設定が行われることとなっている。

(注) 「低所得者」とは、要介護被保険者のうち所得及び資産の状況などの事情を斟酌して厚生労働省令で定める者のことである。

問題 132 次の記述のうち、国民健康保険団体連合会の介護保険制度における役割として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 介護保険の財政の安定化に資する事業に必要な費用を充てるため、財政安定化基金を設ける。
- 2 介護サービス事業者が利用者に提供したサービスに伴う介護給付費の請求に関し、市町村から委託を受けて、審査及び保険給付の支払を行う。
- 3 介護サービスの苦情処理等の業務や事業者・施設への指導・助言のための機関として、運営適正化委員会を設置する。
- 4 市町村が介護認定審査会を共同設置する場合に、市町村間の調整や助言等の必要な援助を行う。
- 5 保険給付に関する処分や保険料などの徴収金に関する処分について、不服申立ての審理・裁決を行うための機関として、介護保険審査会を設置する。

問題 133 事例を読んで、X事業者(福祉用具貸与事業者及び特定福祉用具販売事業者)に勤務するE福祉用具専門相談員(社会福祉士)が行う支援として、最も適切なものを1つ選びなさい。

〔事例〕

E福祉用具専門相談員は、Y居宅介護支援事業所のF介護支援専門員からの依頼で、R市で一人暮らしをしているGさん(女性、84歳、要介護1)の自宅を訪問し、福祉用具の選定に関する相談を行うこととなった。Gさんは約10年前の大腿骨頸部骨折の後遺症により股関節が動きにくくなり、現在では浴槽への出入りと屋外での移動に支障がある。しかし、その他の日常生活動作や認知機能に支障はなく、状態も安定している。GさんはこれまでT字杖以外の福祉用具は使用したことがない。

- 1 Gさんに、福祉用具貸与による入浴補助用具の給付が可能と説明した。
- 2 Gさんに、特定福祉用具販売による自宅廊下の手すりの設置が可能と説明した。
- 3 Gさんに屋外での移動のため、福祉用具貸与による歩行器の利用が可能と説明した。
- 4 Gさん及びF介護支援専門員と相談した上で福祉用具貸与計画と特定福祉用具販売計画を作成し、利用前にR市に提出して承認を得た。
- 5 Gさんが将来、身体状況が悪化したときのことを想定して、玄関の段差を解消するために移動用リフトを設置した方がよいと説明した。

問題 134 老人福祉法に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 市町村は、市町村老人福祉計画において、当該市町村の区域において確保すべき老人福祉事業の量の目標を定めるものとしている。
- 2 養護老人ホームの入所要件は、60歳以上の者であって、経済的理由により居宅において介護を受けることが困難な者としている。
- 3 老人福祉法に基づく福祉の措置の対象となる施設の一つとして、救護施設が含まれている。
- 4 特別養護老人ホームについて、高齢者がやむを得ない事由により自ら申請できない場合に限って、市町村の意見を聴いた上で都道府県が入所措置を行う。
- 5 老人介護支援センターは、介護保険法の改正(2005年(平成17年))に伴って、老人福祉法から削除され、介護保険法上に規定された。

問題 135 高齢者の住まいに関する法制度についての次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 住宅確保要配慮者に対して居住支援に取り組む法人(居住支援法人)は、その申請により、都道府県知事から指定されることとなっている。
- 2 サービス付き高齢者向け住宅は、入居者に対し、介護保険制度における居宅介護サービス若しくは地域密着型サービスの提供が義務づけられている。
- 3 シルバーハウジングにおいては生活支援コーディネーターが配置され、必要に応じて入居者の相談や一時的な身体介護を行うこととなっている。
- 4 終身建物賃貸借制度は、賃借人が死亡することによって賃貸借契約が終了する借家契約であり、75歳以上の高齢者が対象とされている。
- 5 市町村は、住宅確保要配慮者に対する賃貸住宅の供給の促進に関する計画(市町村賃貸住宅供給促進計画)の作成を義務づけられている。